

昭和40年  
3月5日発行  
広報とね

米の収入くらべて野菜

農業経営も大きく変わってまいりました。米の収入だけでは食べて行く事が出来なくなり出稼ぎ、畜産、野菜等それぞれの特技を生かす経営になってきました。

一方、都市は毎年拡大され、利根町も近郊地帯に大きく近づきました。近郊地帯の農業は、高度なそ菜園芸の振興が必要です。野菜の導入について考えなければならぬ事は、一、生のまま食べることが出来る野菜



二、栄養が高く料理が簡易な野菜

三、見た目がきれいで、うまさを感じさせる野菜等が今後消費が伸びるといわれています。

しかも、これらの野菜を高く有利に売るためには

- ①大量の継続出荷
- ②品質の統一
- ③荷姿包装の統一
- ④多量の量目
- ⑤強力な宣伝

この5つの条件が必要ですが、したがってこれからは、個人出荷や部落出荷では有利な販売が出来ないので、この町に住む農家が統一して品種をそろえ、作付を増し、おたがいに約束を守って大産地を作り上げる事が必要です。竜

ヶ崎地区の21農協が力を合せて近郊農業に対処する園芸団地造成を推進しております。

利根町の今年の作付目標は

- キャベツ 17ヘクタール
- ネギ 15ヘクタール
- レタス 5ヘクタール
- パセリ 5ヘクタール
- ニラ 4ヘクタール
- キャベツについては、今年から最低価格の保証制度に入りますので安心して作れます。また、ネギは市場が最も喜んでいる作目であり、レタスは陸田やキャベツ、ネギの後作に良い有利な作物です。パセリ、ニラはこの農家で3アール位は作っていたいただきます。

こうして出来た野菜は、共同で市場に運び野菜の収入を米麦の収入と同じ位にまで増加させる計画を進めておりますので全農家の協力をお願い申し上げます。

竜ヶ崎地区営農団地造成を機会にみなさまの協力で利根町そ菜園芸の振興に努力してください。

作付面積の申し込みはただいま農協で受けつけております。

(利根農協提供) 写真はキャベツの共同出荷風景。大房出荷組合にて1月24日撮影。(広報係)

長寿と若返り(一般投稿)

筆者は化学者でも予言者でもありません。自己の信念を申し上げるのです。長寿法としてみなさんの体は七カ月ごとに造り替えられるのです。そのためには気長の心構えで短気や立腹は大の禁物です。食べ物はいかなるものでも結構ですが、物をみて口の中に甘味をおぼえる唾が催す程度の時に食べるのが一番よろしいと思います。それを時刻が何時だからそれ屋だ、晩だ、という事は自然と無理な食べ方になるのです。自己労働や腹具合なら食べても結構ですが、無理食いは止めるべきで、そのためには二食主義も結構です。ある程度美味と思えば少し余分にいただいても結構と思います。

若返りとしては、まず第一に自分の年を忘れることです。学友や幼な友などをみて、腰が曲ったとか、白髪になっとかまではよろしいが、自分と同年輩だから幾十才になるなどと忘れるべき年を再認識するようでは若返りにはなりません。自分はまだ健康にして若いのだという観念が第一条件であることに注意すべきです。

とくに女の人は他人の姿や髪型を論じますが、そのようなことはカラリと捨てて、私はまだ若い、色艶からしても

の考え方を忘れずに寝る時は寝巻に香水の一滴も垂らして寝てごらん下さい。それこそこの香りで娘時代が思い出され夢の訪れもうらははずかしいほどの夢であると存じます。これこそ若返りの秘けつであると信じます。

筆者はまた思う。老人クラブをクラブと言わず、慰安の場であり、真の極楽浄土の会合の場でもあります。是非とも名称を替えて呼んだらこれも一つの若返り法ではないかと思うのです。クラブのみなさんいかがなものでしょうか？

つぎのような里謡を書いてみました。これはどんな節で歌ってもうたえます。

年に一度は気の合う仲で春を楽しむ旅もうで  
布川振り出さきゃはんはんに笠で  
大師もうでい花吹雪  
町のクラブは仲むつまじく  
いつも健康でえびす顔  
そらいました老人クラブ  
信仰唱えて今日も行く  
花菜道なら蝶々を後に  
揚がるひばりに雲が浮く  
――以下略――

とねまちプレイバック

約56年前

昭和40年3月5日に発行された広報とねNo.11号をプレイバック。

近郊地帯として成長する利根町の農業の振興について取り上げられていました。

米麦だけではなく、蔬菜(野菜)の生産が推奨されている記事です。

また、「長寿と若返り」と題した町民投稿には、いつまでも若々しく健康でいるための心構えや秘訣が紹介されています。令和を生きる私たちも納得させられる内容です。

人口と世帯(令和3年4月1日現在)

総人口	15,732人	(-27)
男性	7,758人	(+2)
女性	7,974人	(-29)
世帯数	7,054世帯	(+17)

( )内は前月比

【情報をお寄せください】利根町の昔の写真や発刊当時の広報とねなど、利根町の歴史や歩みが分かる情報を募集しています。貴重な史料をお持ちの方は、ぜひ広報とね編集担当までご連絡ください。